



金澤東山しつらえ (<http://www.kanazawa-shitsurae.jp>) > ご挨拶

(/)

ご挨拶

(/message)

しつらえについて

(/overview)

お部屋のご紹介

しつらえの間

(/ma)

蔵 KUNIKOセレクション

(/kura)

匠の間

(/takumi)

漆の間

(/urushi)

特別室 青竹土壁の間

(/aotake)

茶房 やなぎ庵

(/yanagi)

ご利用について

(/howtouse)

アクセス

(/access)

お問い合わせ

(/contact)

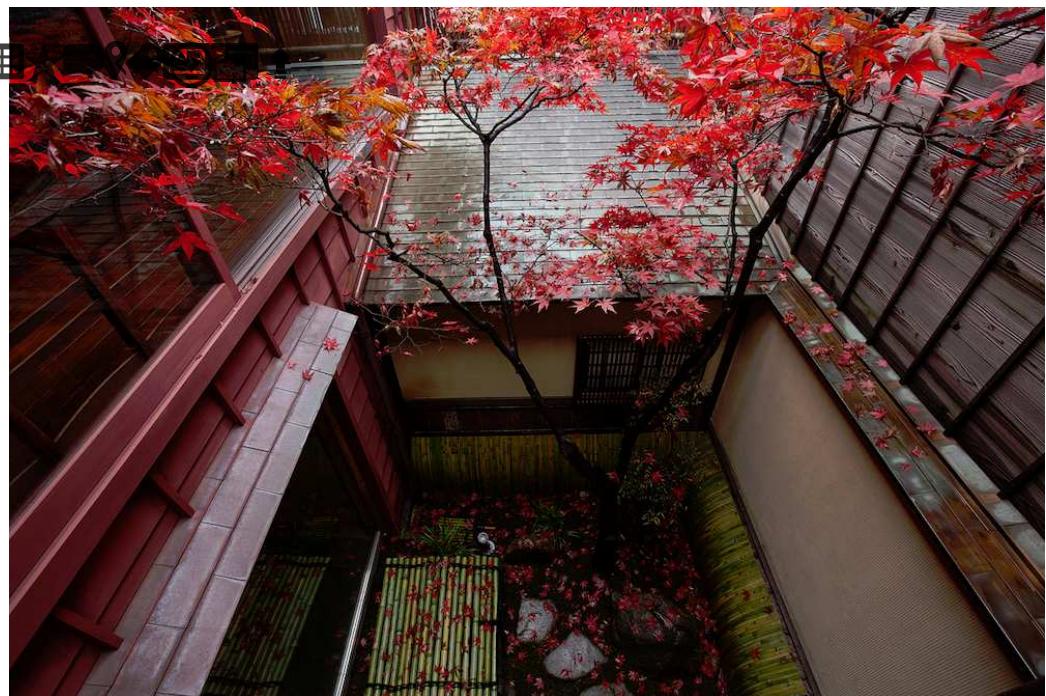
金澤しつらえ

〒920-0831 金沢市東山1丁目13-24

TEL: 076-251-8899

夏季営業時間 10:00~18:00

冬季営業時間: 10:00~17:00



ご挨拶

このたび、金澤が育んできた伝統工芸の魅力あるカタチを新たに創造する伝統工芸ギャラリーを「金澤東山 しつらえ」として開設する運びとなりました。

ここ「旧諸江屋」は、古くは「吉文字や いそ」と「越中や 又吉」の独立した2棟の建物が後年の改築により一体化されたもので、その後は「螢屋（ほたるや）」として御茶屋文化を伝承し、皆様に親しまれてきた物語のある場所です。縁あってこの重要伝統的建造物群保存地区である、ひがし茶屋街の家屋に巡り合い、新たな物語を育む場所として受け継ぐにあたり、地域の皆様に喜んで頂く為にどのようなことをすべきかを考えました。

東山がこれまで金澤の歴史の中で担ってきた、「芸事と文化」にふさわしい、彩りのある文化の発信にこだわり、石川県の伝統技の魅力を広く皆様にご紹介する場として、これまで私なりに取り組んできた工芸への夢と、すばらしい作家の皆様とのご縁を活かし、「金澤東山 しつらえ」としてお披露目することに致しました。

この空間に、工芸への夢や思いを込めてまいります。ぜひ、すばらしい工芸作品との出会いをお楽しみください。

金澤しつらえ店主

浅野邦子

浅野邦子 プロフィール

一枚の金箔の輝きに魅せられてから、「金箔の魅力を金沢から世界に向けて」を掲げ、株式会社箔一を昭和50年に創業。当時、国内で使用される金箔の99%は金沢産であるにも関わらず、単なる工芸材料としてしか扱われていなかった。その中で「金沢箔工芸品」を企画・製造し、販売を開始。第一人者として、金沢箔工芸品を全国で認知される金沢地場産業に育ててきた。

定休日: 水曜日

しつらえからのお知らせ
(/c/news)

「金澤東山しつらえ」公式サイトがオープンいたしました。 2014年12月09日
(/c/news)



会長職である現在も、金沢箔の新しい価値づくりをライフワークとし、伝統的金箔技法を伝承するために、現代の技術開発力をもって、建材・化粧品・食材料など新しい多分野に挑戦し続けていく。



金箔総合企業「箔一」 HAKUICHI



金澤東山しつらえ (<http://www.kanazawa-shitsurae.jp>) > しつらえについて

(/)

ご挨拶

(/message)

しつらえについて

(/overview)

お部屋のご紹介

しつらえの間

(/ma)

蔵 KUNIKOセレクション

(/kura)

匠の間

(/takumi)

漆の間

(/urushi)

特別室 青竹土壁の間

(/aotake)

茶房 やなぎ庵

(/yanagi)

ご利用について

(/howtouse)

アクセス

(/access)

お問い合わせ

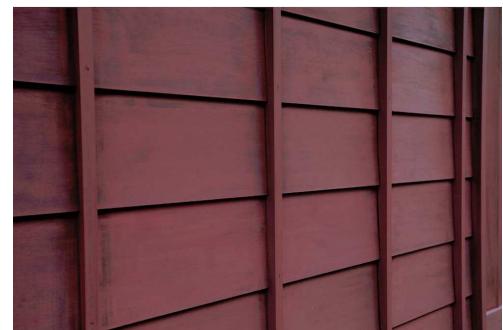
(/contact)



しつらえについて

金澤の文化発信地、東茶屋街。古く文政三年に開設されてから、戦災を免れた歴史的建造物群の中では金澤の芸と茶文化を今も脈々と継承し続けています。その中心地である広見に面して「金澤東山 しつらえ」はございます。シンボルとなる1本の柳がしなやかに立ち、皆様をお迎え致します。

「金澤東山 しつらえ」は、東山界隈でも唯一残る外装に弁柄塗りを施した建物です。弁柄とは土から取れる成分（酸化鉄）で紅殻、弁柄とも呼ばれ日本の暮らしにも古くから根付いている防虫、防腐の機能性から家屋の塗りとしても使用されています。



外壁の壁板を張る際に、羽重（はがさね）にした下見板の押縁（おしふち）として、縦に打ちつける細長い木材を「ささらこ」といいます。裏側には下見板に合わせた刻みをつけ、板に密着するようにしてあります。

外格子には木虫籠（きむすこ）と呼ばれる技法を用いています。細かな格子は細い木を台形に形どっており、外から中は見えにくいか中からは外がよく見える技法が施されています。

金澤しつらえ

〒920-0831 金澤市東山1丁目13-24

TEL: 076-251-8899

夏季営業時間 10:00~18:00

冬季営業時間: 10:00~17:00

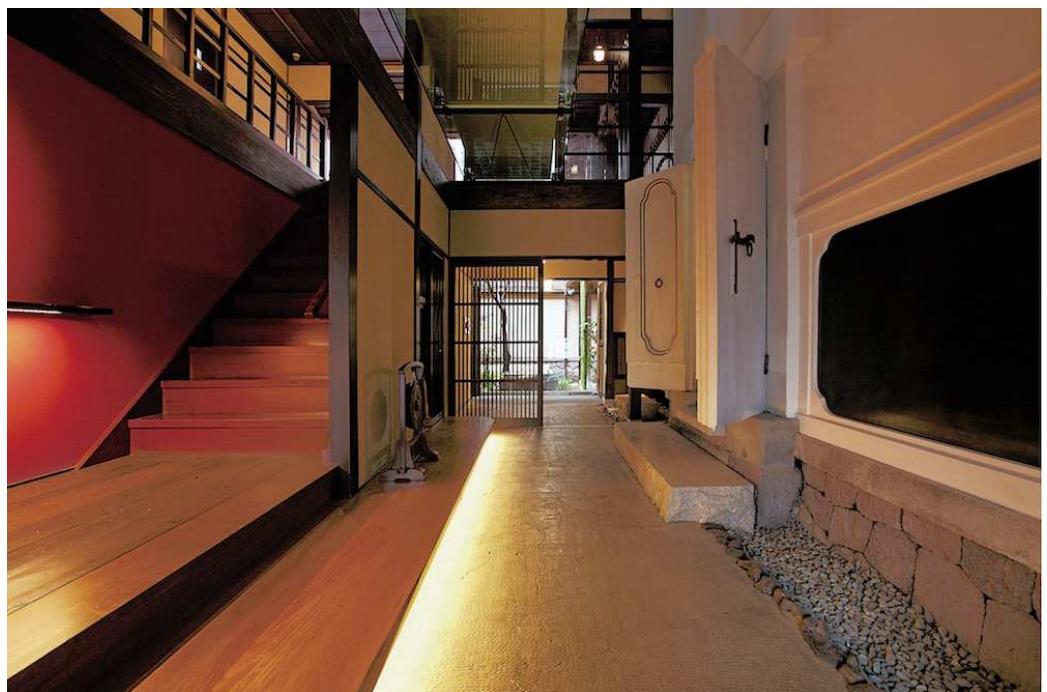
定休日: 水曜日

しつらえからのお知らせ

(/c/news)

「金澤東山しつらえ」公式サイトがオープンいたしました。 2014年12月09日

(/c/news)



のれんをくぐって頂きますと、左手には2Fへの階段、右には蔵、正面には坪庭。

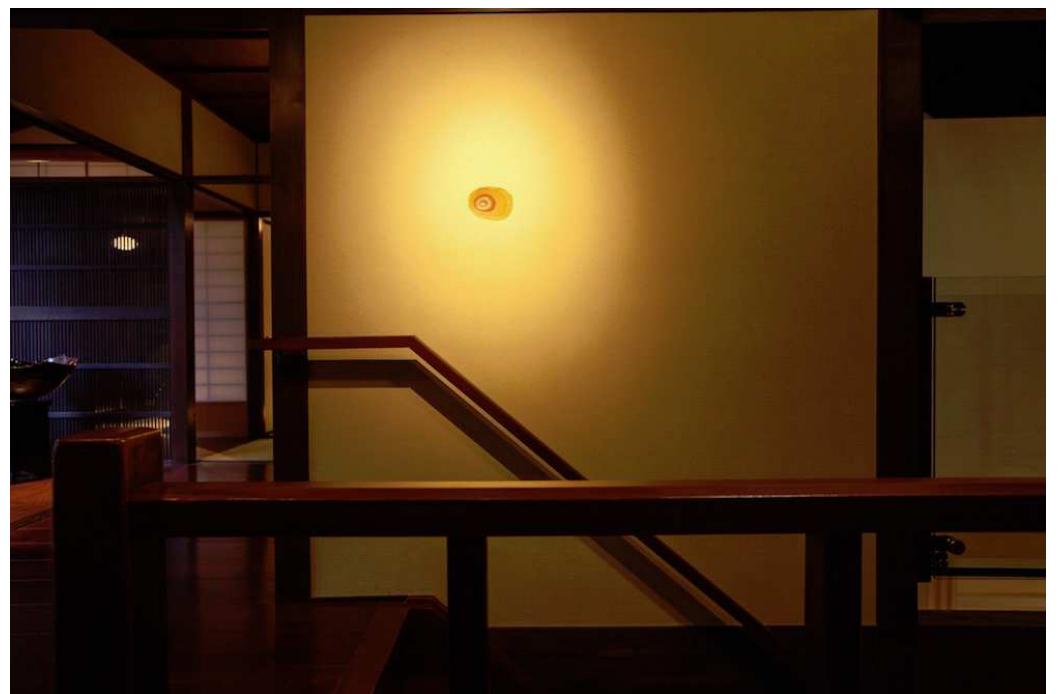


玄関土間は三和土（たたき）を用いました。三和土とは「敲き土（たたきつち）」の略で、赤土・砂利などに消石灰とにがりを混ぜて練り、塗って敲き固めた素材。三種類の材料を混ぜ合わせることから「三和土」と書きます。一枚板の上がり框にありますのは、茶席の準備が出来たことを知らせるために鳴らす銅鑼。人間国宝・魚住為楽の作品です。砂張（さはり）という銅と錫から作られた素材を、伝統の技で作り上げた銅鑼の音は優雅な余韻を響かせますので、是非お試しください。





二階にあがって頂きますと、箱庭に植えられたノムラモミジがお迎えいたします。その手前には大樋焼作家・大樋年男氏による茶道具をしつらえました。



左官仕上の土壁は、薄紅（うすべに）、真朱（しんしゅ）、黄丹（おうたん）、鵠（とき）、照柿（てりがき）、利休茶（りきゅうちや）、花浅葱（はなあさぎ）等十六層に塗り重ねられ、まるで十二単のような艶やかさと華やぎを見る事ができます。



金澤東山しつらえ (<http://www.kanazawa-shitsurae.jp>) > しつらえの間

(/)

ご挨拶

(/message)

しつらえについて

(/overview)

お部屋のご紹介

しつらえの間

(/ma)

蔵 KUNIKOセレクション

(/kura)

匠の間

(/takumi)

漆の間

(/urushi)

特別室 青竹土壁の間

(/aotake)

茶房 やなぎ庵

(/yanagi)

ご利用について

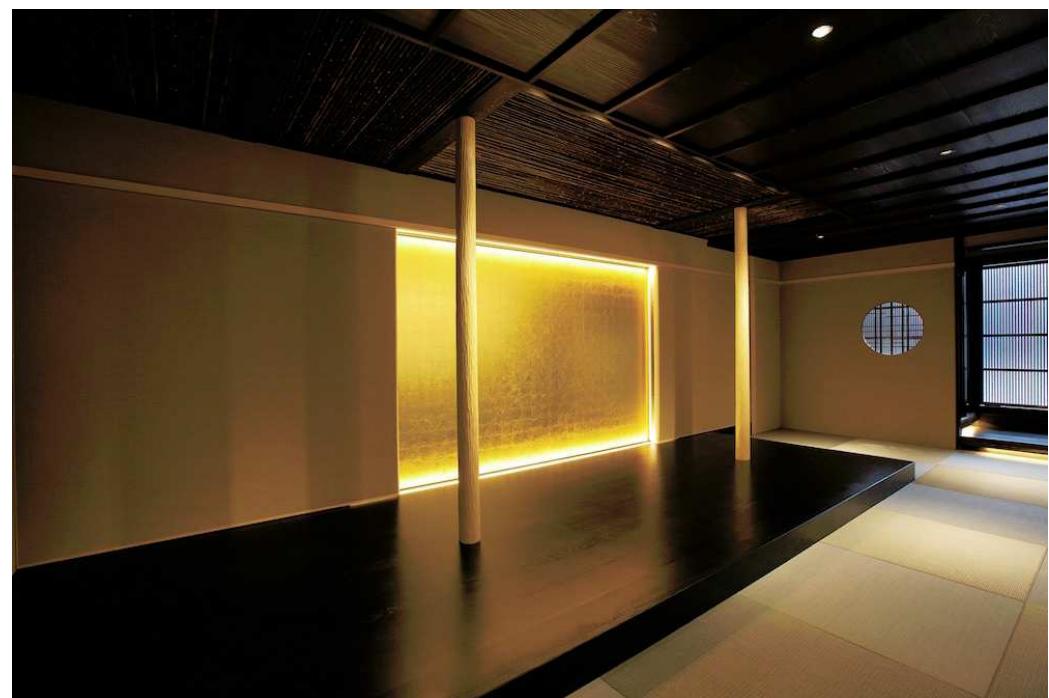
(/howtouse)

アクセス

(/access)

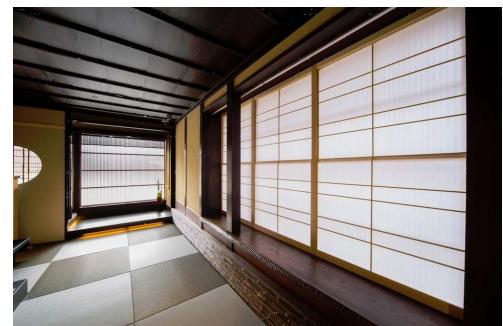
お問い合わせ

(/contact)



しつらえの間

木虫籠（きむすこ）の繊細な格子が美しく映える「しつらえの間」は、建設時を記録するかのような印象を持つ柱、聚楽壁に囲まれている雪見障子など、部屋の各処に伝統技法が施されています。



古き良き、残すべき箇所を保ちながら新しく改築を施し、調和を保っております。中央にありますのは漆を丁寧に施した漆黒の舞台。襖を開けると金箔屏風が現れます。金箔は3種類のものを貼り合わせ、光を反射させ奥行ある仕上げとなっております。



金澤しつらえ

〒920-0831 金沢市東山1丁目13-24

TEL: 076-251-8899

夏季営業時間 10:00~18:00

冬季営業時間 10:00~17:00

舞台を右手とし左手には、大樋焼と輪島塗を展示販売しております。展示棚の背板には、以前天井に使用されていた堀木エリ子氏の和紙を使用。

定休日: 水曜日

しつらえからのお知らせ

(/c/news)

通常は伝統工芸の匠達と店主・浅野邦子が企画した逸品にて、金澤の四季折々の美しさを表現し、しつらえております。またこの部屋では、芸妓の街らしい芸能の催しをはじめ、花、茶、書などの文化催事を皆様にお楽しみ頂きたく、企画してまいります。

「金澤東山しつらえ」公式サイトがオー

プンいたしました。 2014年12月09日

(/c/news)



(/)

ご挨拶

(/message)

しつらえについて

(/overview)

お部屋のご紹介

しつらえの間

(/ma)

蔵 KUNIKOセレクション

(/kura)

匠の間

(/takumi)

漆の間

(/urushi)

特別室 青竹土壁の間

(/aotake)

茶房 やなぎ庵

(/yanagi)

ご利用について

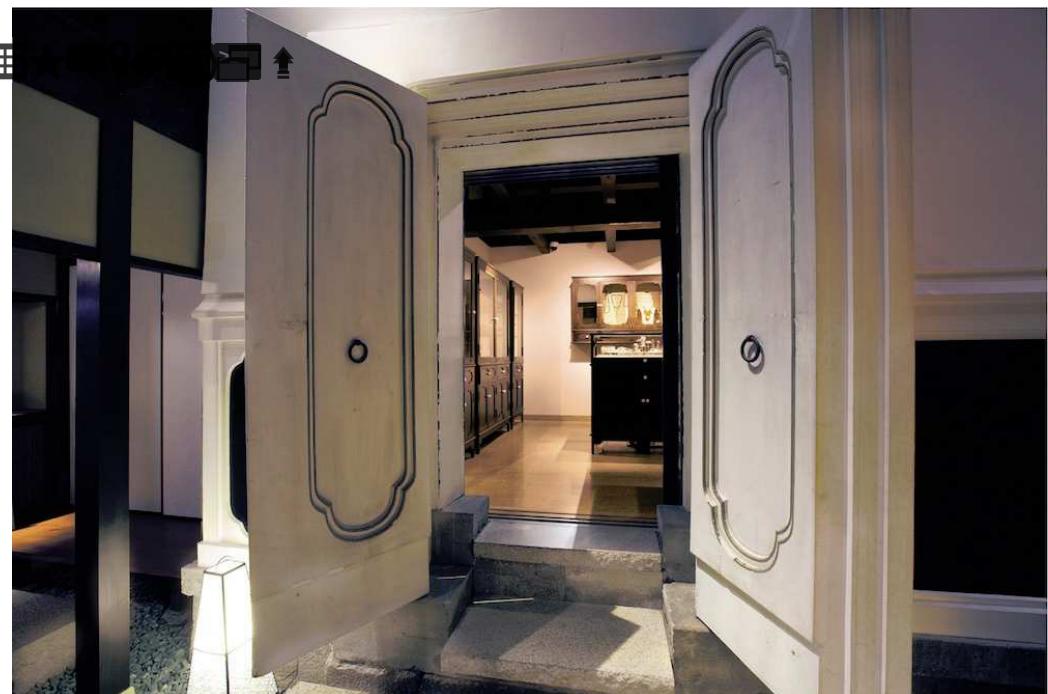
(/howtouse)

アクセス

(/access)

お問い合わせ

(/contact)



蔵 KUNIKO セレクション

昔のままの漆喰塗りが残る旧家らしい重厚な土蔵。石段を上り両開きの戸をくぐって頂くと、店主・浅野邦子が厳選した作家によるオリジナルアクセサリーや 美飾品など、こだわりの逸品が並ぶギャラリーとなっております。



金澤しつらえ

〒920-0831 金沢市東山1丁目13-24

TEL: 076-251-8899

夏季営業時間 10:00~18:00

冬季営業時間: 10:00~17:00

定休日: 水曜日

しつらえからのお知らせ

(/c/news)

「金澤東山しつらえ」公式サイトがオープンいたしました。 2014年12月09日

(/c/news)



入口はの戸は、木、土塗りの格子戸と障子戸の三重扉になっています。障子戸の紙張りは、もとの原型を残し現代にも通じるモダンな素材に張り替えて再利用しています。

レトロなオリジナルショーケースに並びますのは、琥珀、漆、螺鈿、天然石や漆など自然の素材を使用した、女性を美しく飾る品々。金澤しつらえ限定の品もございますので、一期一会の出会いを見つけにいらしてください。



金澤東山しつらえ (<http://www.kanazawa-shitsurae.jp>) > 匠の間



(/)

ご挨拶

(/message)

しつらえについて

(/overview)

お部屋のご紹介

しつらえの間

(/ma)

蔵 KUNIKOセレクション

(/kura)

匠の間

(/takumi)

漆の間

(/urushi)

特別室 青竹土壁の間

(/aotake)

茶房 やなぎ庵

(/yanagi)

ご利用について

(/howtouse)

アクセス

(/access)

お問い合わせ

(/contact)

匠の間

伝統的工芸品製造者の中でも、高度な技術・技法を持つと認定された匠を、伝統工芸士と称します。匠の間では、伝統工芸士の技を集積した作品を介して、巨匠たちのものづくりの技と心をご覧いただけます。



本聚楽の壁の文様は、水分を多めに塗ってから急速に乾燥させることで細かいひび割れを強制的に起こすという匠の技です。中川一政氏の掛け軸を中心に鎮座致しますは、三代 浅藏五十吉、吉田美統、福島武山、山本篤といった石川県を代表する匠の作品です。

金澤しつらえ

〒920-0831 金沢市東山1丁目13-24

TEL: 076-251-8899

夏季営業時間 10:00~18:00

冬季営業時間: 10:00~17:00

定休日: 水曜日

しつらえからのお知らせ

(/c/news)

「金澤東山しつらえ」公式サイトがオープンいたしました。 2014年12月09日
(/c/news)



右手にある屏風は、京都祇園祭の時期に山鉾町で行われる屏風祭にて、旧家がしつらえておりましたものを修復展示しております。落ち着いた風合いの屏風は大きさの割にしっとりとした存在で、巨匠の作品を邪魔することなく空間を埋める役割を果たしています。

窓越しには、町家らしい箱庭で一年中紅色の葉をたたえたノムラモミジが。是非縁にお座りになり、四季により入れ替わる巨匠の作品と箱庭の風情をごゆっくりお楽しみください。



金澤東山しつらえ (<http://www.kanazawa-shitsurae.jp>) > 漆の間

(/)

ご挨拶

(/message)

しつらえについて

(/overview)

お部屋のご紹介

しつらえの間

(/ma)

蔵 KUNIKOセレクション

(/kura)

匠の間

(/takumi)

漆の間

(/urushi)

特別室 青竹土壁の間

(/aotake)

茶房 やなぎ庵

(/yanagi)

ご利用について

(/howtouse)

アクセス

(/access)

お問い合わせ

(/contact)



漆の間

「漆の間」は石川県輪島市の伝統工芸、輪島塗をご紹介するお部屋です。

輪島塗の職人達が作り上げた作品でしつらえた漆の間は、部屋全体が芸術作品そのもの。入口の戸にも輪島塗りを用い、鮮やかな赤い壁と美しく調和しています。職人の手技によるものづくりへの思いを感じて下さい。



この部屋の赤いじゅらく壁は、何世代か前の「真朱」の塗り壁を再現しています。茶屋では通りに面した座敷より奥庭に面した方が格式高い部屋とされ、同じく格式が高いとされている真朱の色からも、建設当時からこの部屋が大切なお客様の為に存在したことが伺えます。控えの間が付いたこの部屋では、芸妓さんを呼んで茶屋遊びに興じることができます。

金澤しつらえ

〒920-0831 金沢市東山1丁目13-24

TEL: 076-251-8899

夏季営業時間 10:00~18:00

冬季営業時間: 10:00~17:00

定休日: 水曜日

しつらえからのお知らせ

(/c/news)

「金澤東山しつらえ」公式サイトがオー

プンいたしました。 2014年12月09日

(/c/news)



金澤東山しつらえ (<http://www.kanazawa-shitsurae.jp>) > 特別室 青竹土壁の間

(/)

ご挨拶

(/message)

しつらえについて

(/overview)

お部屋のご紹介

しつらえの間

(/ma)

蔵 KUNIKOセレクション

(/kura)

匠の間

(/takumi)

漆の間

(/urushi)

特別室 青竹土壁の間

(/aotake)

茶房 やなぎ庵

(/yanagi)

ご利用について

(/howtouse)

アクセス

(/access)

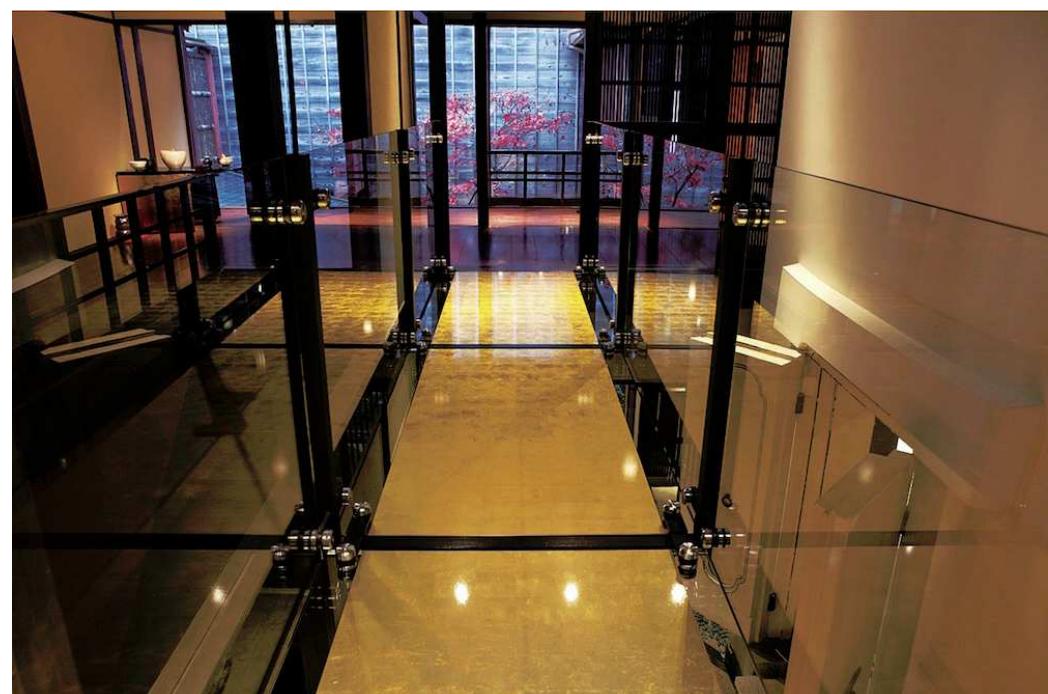
お問い合わせ

(/contact)



特別室 青竹土壁の間

この部屋を利用して頂く方の為だけにしつらえた金箔の吊り橋を渡ると、「青竹 土壁の間」になります。石動左官により、京都の青竹土の土自体が持つ水色の壁は、凛とした爽やかさを持つ美しい色に仕上がっております。



オリジナル制作致しました金箔のテーブルと、カルテル社の椅子に金箔を施した応接セットを中心、米田孫六氏による蒔絵が施された茶棚など、豪華な加飾が施された調度品にて、ハレ日の贅沢さを演出致します。

金澤しつらえ

〒920-0831 金沢市東山1丁目13-24

TEL: 076-251-8899

夏季営業時間 10:00~18:00

冬季営業時間: 10:00~17:00

定休日: 水曜日

しつらえからのお知らせ

(/c/news)

「金澤東山しつらえ」公式サイトがオー

プンいたしました。 2014年12月09日

(/c/news)